

MiSeqのランのセットアップ時・開始時に起こるトラブルの対処方法

July 31, 2015



© 2015 Illumina, Inc. All rights reserved.

Illumina, 24sure, BaseSpace, BeadArray, BlueFish, BlueFuse, BlueGnome, cBot, CSPro, CytoChip, DesignStudio, Epicentre, ForenSeq, Genetic Energy, GenomeStudio, GoldenGate, HiScan, HiSeq, HiSeq X, Infinium, iScan, iSelect, MiSeq, MiSeqDx, MiSeq FGx, NeoPrep, NextBio, Nextera, NextSeq, Powered by Illumina, SureMDA, TruGenome, TruSeq, TruSight, Understand Your Genome, UYG, VeraCode, verifi, VeriSeq, the pumpkin orange color, and the streaming bases design are trademarks of Illumina, Inc. and/or its affiliate(s) in the US and/or other countries. All other names, logos, and other trademarks are the property of their respective owners.



本日の内容

- ▶ MiSeqのラン前によくお問い合わせいただくトラブル
 - RFIDが読み込めない
 - プレランチェックが通らない
- ▶ MiSeqのラン開始後のエラー
 - ラン開始直後にエラーでランが中断
 - ラン開始後(1時間~1時間半)以降にエラーで中断

本日の内容

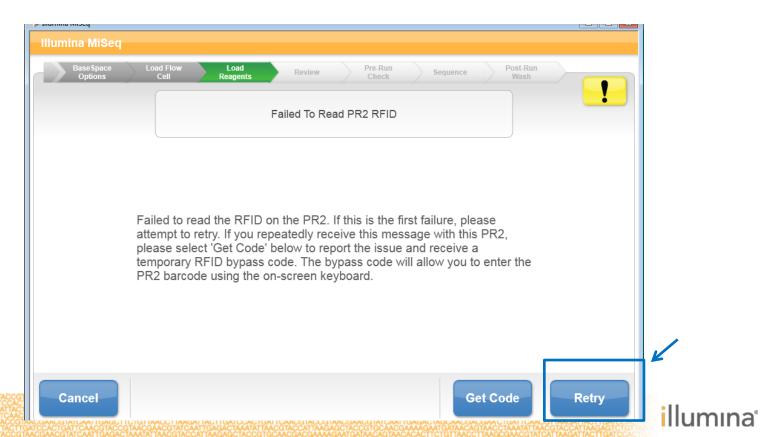
- ▶ MiSeqのラン前によくお問い合わせいただくトラブル
 - RFIDが読み込めない
 - プレランチェックが通らない
- ▶ MiSeqのラン開始後のエラー
 - ラン開始直後にエラーで中断
 - ラン開始後(1時間~1時間半)以降にエラーで中断



RFIDが読み込めない

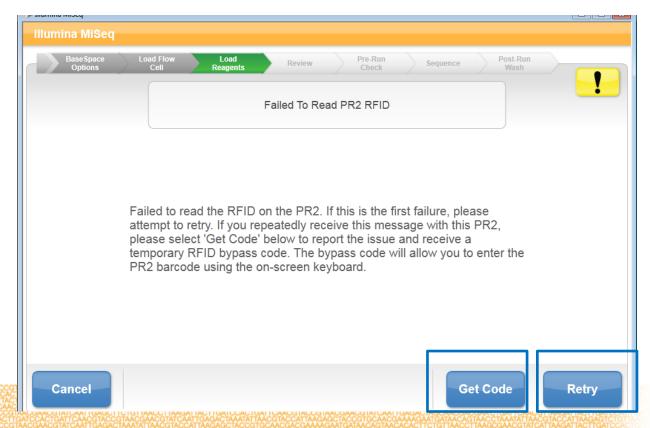
各試薬の情報の読み込み、書き込みに必要なRFID

- ▶ フローセル、試薬カートリッジ、PR2試薬には各試薬の情報の読み込み、書き 込みに必要なRFIDタグがついている。
- ▶ ランのセットアップ時にフローセル、試薬カートリッジ、PR2ボトルのRFIDが 読み込めないときに警告画面が表示される。



RFIDが読み込めない エラーの原因と対処方法

- ▶ 試薬消耗品のRFIDタグの不良 ->"Retry"を選択し、再度読み込む。
- ▶ RFIDセンサー不良-> "Get Code"を選択し、RFIDバイパスコードの入力画面に 進む。





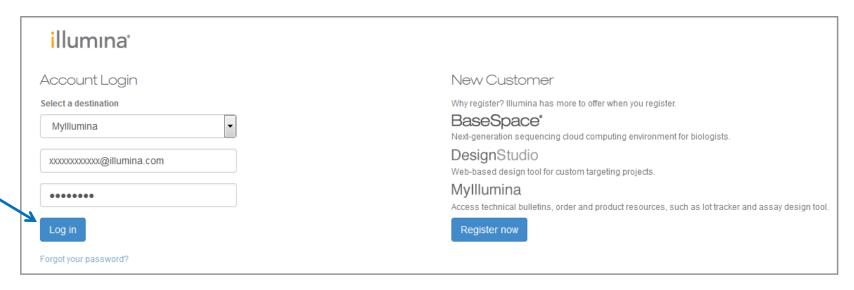
RFIDが読み込めない

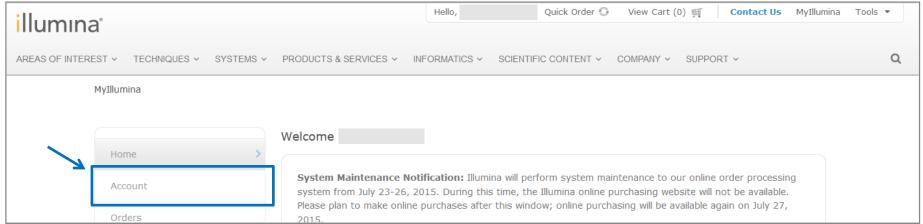
- ▶ Mylllumina からバイパスコードを取得するよう通知があるので [Enter Code]でバイパスコードの入力画面に移る。
- ▶ ランのセットアップのため、Myllluminaへアクセス。





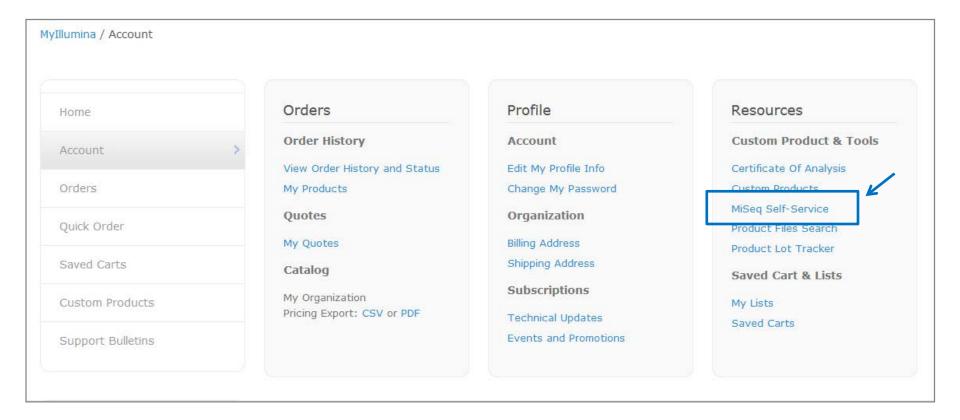
http://www/illumina.com/にアクセスし、MyIlluminaにログイン



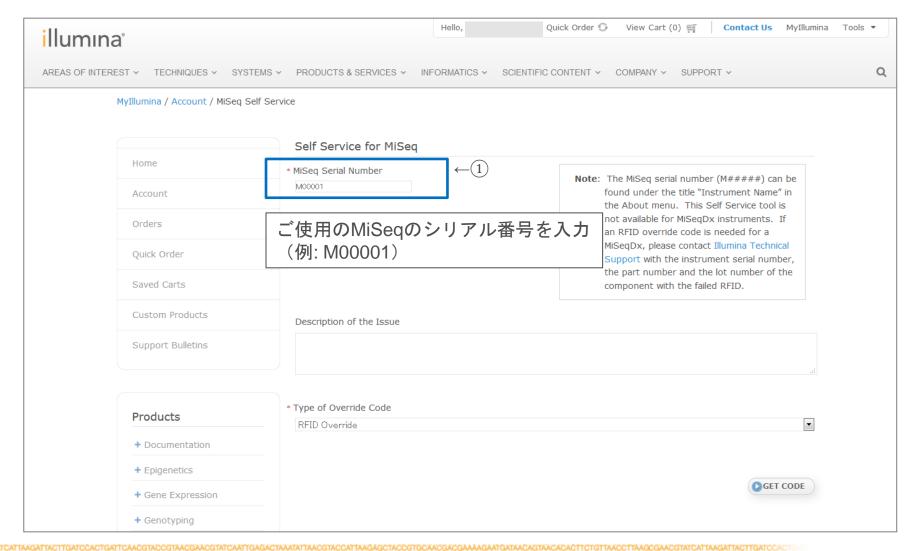




Account>MiSeq Self-Serviceを選択



必要な項目を入力

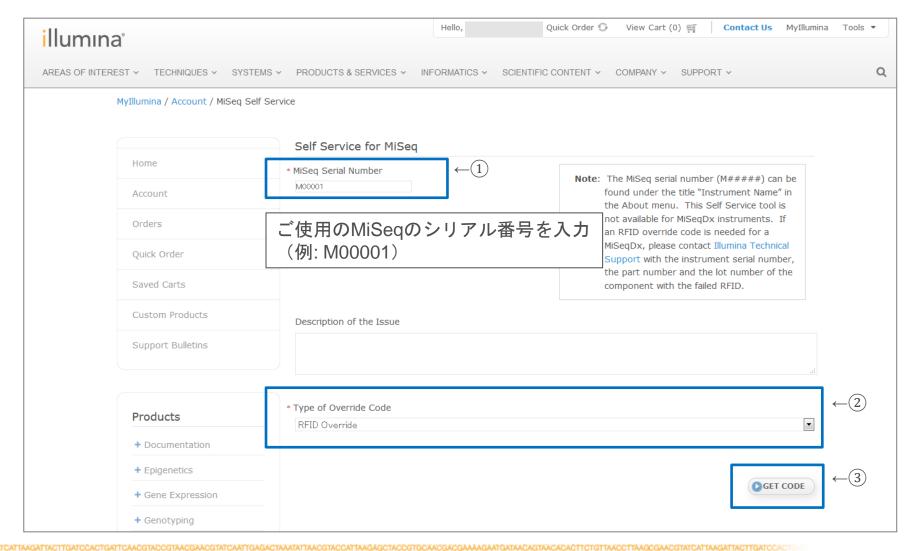




MiSeqのシリアル番号の確認方法



必要な項目を入力







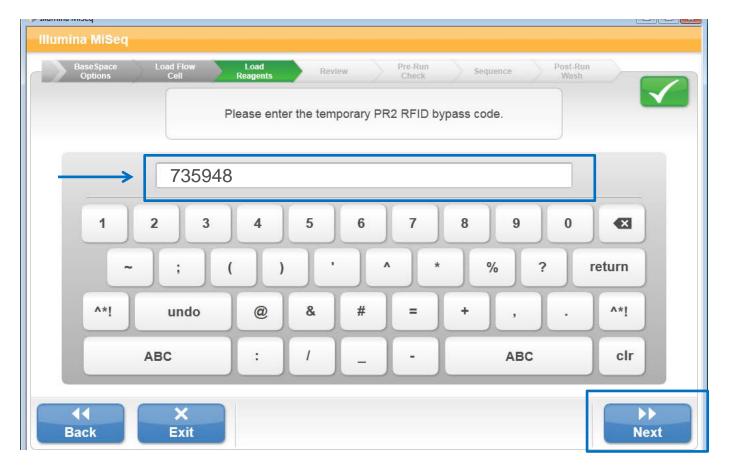
RFIDバイパスコードを取得



- ▶ RFIDバイパスコードは発行日から7日間有効
- ▶ 2か月に3回発行可能

バイパスコードを入力

▶ 取得したバイパスコードをMCSの画面に入力



バーコード番号は各試薬に貼付のシールを確認

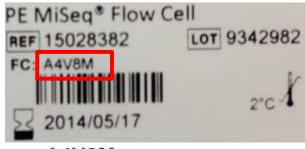
- ▶ 試薬カートリッジとPR2試薬は、本体に貼付のシールに記載
- ▶ フローセルは、保存容器に貼付のシールに記載

試薬カートリッジ



MS3016106-150V3

フローセル



A4V8M

PR2試薬

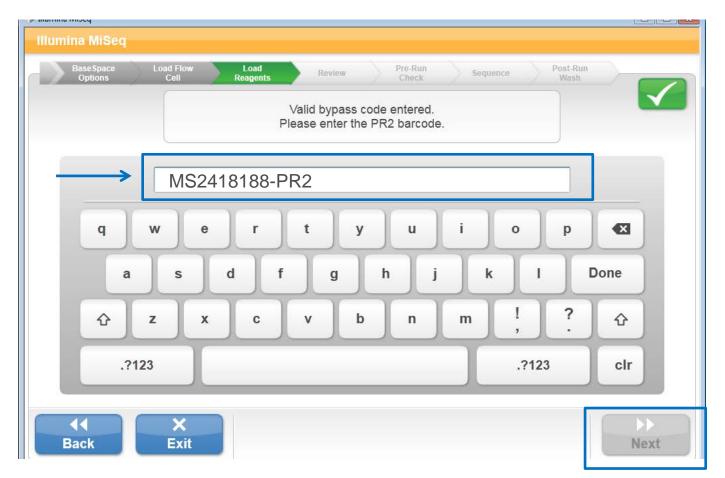


MS2418188-PR2



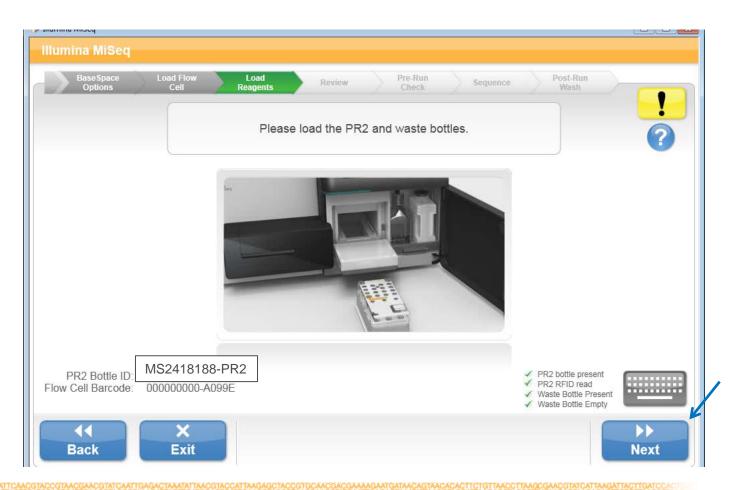
試薬に記載されたバーコード番号を入力

▶ フローセル、試薬カートリッジ、PR2試薬のバーコード番号を入力



ランのセットアップに進む

▶ [Next]がアクティブになるので、次の操作に進む。





ご注意ください

無効なRFIDバイパスコードを入力すると、先に進むことができない。



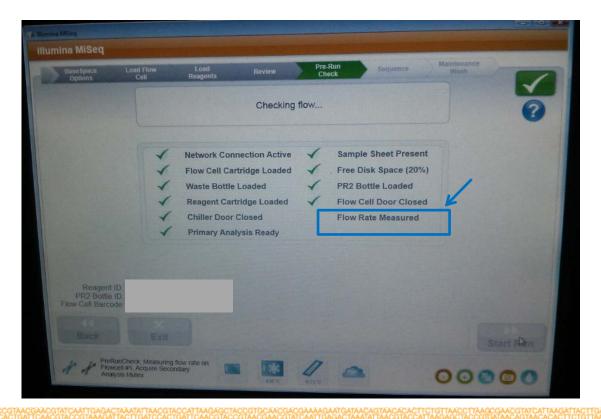
本日の内容

- ▶ MiSeqのラン前によくお問い合わせいただくトラブル
 - RFIDが読み込めない
 - プレランチェックが通らない
- ▶ MiSeqのラン開始後のエラー
 - ラン開始直後にエラーで中断
 - ラン開始後(1時間~1時間半)以降にエラーで中断

ラン開始前のプレランチェックが通らない

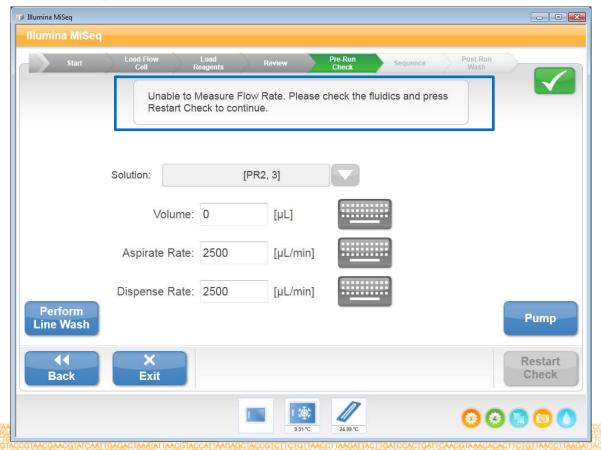
Flow Rate Measuredがパスしない

- ▶ 空気-PR2試薬-空気の順で流し、空気間のPR2試薬の液量をチェックする項目。
- ▶ PR2試薬の送液で流路の不具合を確認
 - エラーは、PR2試薬の送液不良やセンサーが空気を認識していないことが原因。



ラン開始前のプレランチェックが通らない Flow Rate Measuredに関するエラーメッセージ

- "Unable to measure Flow Rate. Please check the fluidics and press Restart Check to continue."
- ▶ Flow Rate Measuredをパスしなければ、ランに進むことができない。





ラン開始前のプレランチェックが通らない まずは画面にしたがってpumpを行う

- ▶ PumpでPR2試薬を流した後に、再度Restart Checkでプレランチェックを実施。
- ▶ Volumeは、250uLまたは500uLで行う。





ラン開始前のプレランチェックが通らない エラーの対処方法

- ▶ フローセルの設置方法、フローセルまたは装置の流路の不具合の可能性
 - 1. 装置の再起動を行う。(フローセルと試薬は装置内に放置)
 - 2. MCSにてランのセットアップ画面に進む。
 - 3. フローセル設置の画面で、フローセルを取り外す。(ガラス部分にヒビや、カケがないことを確認)
 - 4. フローセルの設置面をきれいにし、再度設置する。
 - 5. プレランチェックに進む。
- ▶ 再度同じエラーとなる場合は、装置またはフローセルの不具合の可能性
- テクニカルサポートまでお問い合わせください。
 - 別の新しいフローセルを使用し、ランのセットアップをお試しいただく場合がある。

ラン開始前のプレランチェックが通らない エラーの原因となる可能性のあるもの

- ▶ フローセルの設置の仕方
 - 装置再起動後の、フローセル再設置で解消
- ▶ FCの流路のinlet、outlet側への泡の混入
 - PR2試薬のpumpにて解消
- ▶ 装置のフローセル設置面に試薬の析出物等があると、 フローセルと装置の流路に隙間ができる
 - 析出物の除去、設置面の拭き取りにて解消
- ▶ 装置の流路に不具合
 - エラーが再現された場合は、流路チェックを実施
 - 試薬カートリッジのすべてのポジションの試薬の送液を チェックし、流路の問題を確認する





本日の内容

- ▶ MiSeqのラン前によくお問い合わせいただくトラブル
 - RFIDが読み込めない
 - プレランチェックが通らない
- ▶ MiSeqのラン開始後のエラー
 - ラン開始直後にエラーで中断
 - ラン開始後(1時間~1時間半)以降にエラーで中断

ラン開始直後にエラーで中断 "START"を押した直後にガリガリという音とエラー発生

- ▶ ランを開始するとシッパーが試薬カートリッジに下りるが、シッパーが試薬 カートリッジのプラスチック部分にぶつかるとエラーとなる。
- ▶ 表示されるエラー
 - "Object reference not set to an instance" または、
 - "The FPGA reported an Error while executing command "SIPDOWN""
- カートリッジが奥まで差し込まれていないために、シッパーがカートリッジに うまく降りないことが原因であることが多い。中断したランの再開はできない。

Type Flow Cell	Time	Message
:-:	2/22/2014 10:24:27 AM	The FPGA reported an error while executing command "SIPDOWN"; error message: "sip: down sensor error"
-	2/22/2014 10:20:31 AM	The FPGA reported an error while executing command "SIPDOWN"; error message: "sip: down sensor error"

シッパーエラーが発生 次の対応内容

- ▶ この時点で試薬は未使用のため、同じ試薬を使用して次のランが可能。
 - 1. ラン終了後、使用した試薬カートリッジの全てのポジションに穴が開いているかを確認。
 - 2. 次のランの準備を行うまでの間は、試薬カートリッジ・フローセル・PR2試薬は4℃ で保管する。
 - 3. ラン中断後にウォッシュを行う際は、別の使用済みフローセルとウォッシュカートリッジを使用。
 - ✓ ウォッシュ開始時に異音が再現するかを確認。
 - 4. ウォッシュ終了後に再度ランのセットアップを行い、ランを開始。
 - ✓ 試薬カートリッジは、奥までしっかり挿入すること。

シッパーエラーが再現する場合には、シッパー動作の調整が必要となる。

本日の内容

- ▶ MiSeqのラン前によくお問い合わせいただくトラブル
 - RFIDが読み込めない
 - プレランチェックが通らない
- ▶ MiSeqのラン開始後のエラー
 - ラン開始直後にエラーで中断
 - ラン開始後(1時間~1時間半)以降にエラーで中断

ラン開始後(1時間~1時間半)以降に中断 フォーカスエラーの場合

- ▶ ラン開始後は試薬が送液され、フローセル上にクラスター形成、一塩基伸長反応(SBS反応)を行う。
- MiSeqでは、フローセル上の蛍光シグナルを利用してオートフォーカスにより フォーカスを合わせる。フォーカスを合わせにくい状況になるとフォーカスア ウトのメッセージとともにランが終了。



ラン開始後(1時間~1時間半)以降に中断 フォーカスエラーの場合

▶ フォーカスエラーが出た際の対応は、過去のウェビナーにてご紹介。 http://www.illuminakk.co.jp/events/webinar_japan/support_webinar.ilmn



本日のまとめ

- ▶ ラン開始前や開始直後にエラーが発生した際に、すぐに解消できることがある。
 - RFIDが読み込めない
 - プレランチェックが通らない
 - ラン開始直後のシッパーエラー
- ▶ エラーが解消されない場合や、ご不明な点があればテクニカルサポートに連絡。
 - テクニカルサポート直通フリーダイヤル(0800-111-5011)
 - ※固定電話・携帯電話から無料、平日9時-17時受付
 - メールアドレス (<u>techsupport@illumina.com</u>)

参考資料

▶ フォーカスエラーが出た時の対応、流路チェックの方法
サポートウェビナー資料 http://www.illuminakk.co.jp/events/webinar_japan/support_webinar.ilmn



MiSeq System User Guide

http://support.illumina.com/downloads/miseq_system_user_guide_15027617.html

Support Bulletin

https://my.illumina.com/Mylllumina/Bulletins?technology=sequencing&workflow=instrumentation